

# 「南阿蘇村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る効果検証結果報告

「南阿蘇村まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」における効果検証会議（令和6年10月17日）の結果について、下記のとおり報告します。

## ● 検証結果

(単位:千円)

番号	年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳		検証結果			主幹課
					交付金	一般財源	事業の評価	今後の方針	委員コメント	
1	R5	コンビニエンスストア等での証明書等交付サービス ※デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ TYPE 1)	コンビニエンスストアで各種証明書を発行できるようにすることで、利用者が役場開庁時間に限られず、また、交付場所も居住地に縛られず、証明書等が急に必要になった場合でも取得できるようにすることで、住民にとっての利便性の向上を図る。  ①必要機器の導入及びシステム構築 ②証明書交付センター（地方公共団体情報システム機構）への接続 ③本番稼働後の運用保守	15,314	7,657	7,657	「取組事業がKPI（指標）達成に有効だった。」	事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させるべきである（事業拡大）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を知らない住民もいると思うので、引き続きPRしてほしい。</li> <li>・今後の利用拡大のためコンビニでの発行手数料見直しなどを検討してみてもは。</li> <li>・銀行とも連携することで事業拡大に繋がり、マイナンバー取得増へ期待できるのではないかと。</li> <li>・通年での目標値（KPI）の設定見直し。</li> <li>・役場職員の業務負担減に繋がることは良いが、住民とのコミュニケーションが希薄になることの無いようお願いする。</li> </ul>	企画観光課
2	R5	コンビニ収納サービス ※デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYP A 1)	各種税・料を役場庁舎のみならず、コンビニエンスストアで支払い可能にすることで、住民及び納税義務者が役場や銀行・郵便局の開店時間に限らず、また支払い場所も全国のコンビニエンスストアであれば可能になる。また、スマートフォンによるキャッシュレスでの支払いも可能にする。これにより、住民による税・料の支払いの利便性が向上すること、及び村外の納税義務者（支払い義務者）の利便性も向上することを目的とする。  ①収納代行導入費用 ②システムの構築・改修（納付書のレイアウト・デザイン変更含む） ③本番稼働後の運用・保守 ④キャッシュレス推進に向けたスマホ教室の実施	37,180	18,590	18,590	「その他」※事業開始が年度末で、KPIの達成を評価することが出来なかった。	特に見直しの必要がなく今後も事業を継続すべきである（事業継続）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への周知が必要。</li> <li>・高齢者などのスマートフォンの活用に引き続きスマホ教室の実施をお願いする。</li> <li>・今後、多くの業務がデジタル化することは間違いない。住民とのコミュニケーションが希薄になることの無いようお願いする。</li> <li>・事業継続で、口座振替申請がオンラインでできる様になると業務負担減の改善に繋がるとともに、経費削減も期待できる。</li> </ul>	企画観光課

番号	年度	事業名	事業内容	事業費	財源内訳		検証結果			主幹課
					交付金	一般財源	事業の評価	今後の方針	委員コメント	
3	R5	大草原が育む食と自然のエシカルビレッジ事業 ※デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE X）	「南阿蘇村 草原再生・あか牛復興プロジェクト」が産業振興に主眼をおいた事業であることに対し、今回の事業では、人口減少課題に対するKPIを設定し明確なテーマに基づいた、デジタル（メタバース×マイナンバーカード）を活用した関与プロセスの設計及びエビデンスに基づいた政策立案、さらには様々な人材とノウハウを村に蓄積させる交流復興・人口増加を目的とする。 ①和牛消費・流通コミュニケーション創出メタバース ②エシカル畜産推進にむけたデジタル活用支援サービス ③メタバース空間データ活用コミュニティ構築 ④マイナンバーカード活用促進ハイブリッド型イベント ⑤コミュニケーションのデジタルツイン化	200,000	200,000	0	「取組事業がKPI達成に有効とは言えなかった」	事業内容の見直し（改善）を行なうべきである	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値（KPI）の設定が分かり難い。</li> <li>・事業費に対する効果、特に村の振興、発展に繋がったのか見えてこない。</li> <li>・もっとアプリを活用して移住定住に繋がる事業実施が必要である。</li> <li>・アプリの運用は、役場だけでなく外部のみならず観光局やITカレッジ阿蘇、南阿蘇鉄道など外部によるコンテンツの情報発信が良いと思う。</li> <li>・サイネージを活用したPRも行うべき。</li> </ul>	企画観光課